



新年あけましておめでとうございます。
 昨年中は格別のお引き立てを賜り心よりお礼申し上げます。
 本年も何卒よろしくお願い申し上げます。



郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議・特別講演会 次世代モビリティ事業の取り組み

産業支援機関である当機構の事業の一つ郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議は、郡山テクノポリス圏域（郡山市、須賀川市、鏡石町、石川町、三春町、玉川村）などの中小企業製造業者が持つ技術力などを積極的に活用するため、アライアンス（企業連携）を組み、研究開発や販路の新規開拓を促進することを目的に平成15年に設立しております。

この度、電気自動車（EV）の産官学連携プロジェクトとして次世代モビリティと社会システムの開発を推進し、福島イノベーションコースト関連事業にも携わる株式会社タジマモーターコーポレーションの執行役員 会長室プロジェクトリーダーである上荒磯 祥彦氏に次世代モビリティ事業の取り組みに関して講演をいただきます。

当形成会議会員のみならず、会員以外の方もぜひ、この機会をお見逃しなく、皆様のご参加をお待ちしております。

日時：令和元年2月4日（火）

○講演会 午後3時～4時30分 ○交流会 午後4時40分～午後6時

場所：ホテルハマツ（福島県郡山市虎丸町3番18号）3階右近の間

定員：70名

参加費：○講演会 無料 ○交流会 一人2,000円 ただし、アライアンス形成会議会員は無料

主催：郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議

（公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構内）

後援：郡山地域テクノポリス市町村協議会/郡山地域テクノポリス推進協議会

申込方法：チラシ裏面の参加申込書または当機構公式サイトの特典申込フォームに必要事項を記入の上、下記により1月24日（金）までにお申し込みください。

FAX：024-947-4475 専用申込フォーム：<http://www.techno-media.net6.or.jp/>

問合せ先：公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構

TEL：024-947-4400



特別講演会チラシ

Connect 2019 in Koriyama, with UDC 開催報告

「地域の課題を解決するアプリを作ろう」～30年後の自分たちの暮らす街を良くするために～をテーマに、社会人と学生合わせて開発者78名（12チーム）、関係者を含め95名の参加する1泊2日の合宿形式によるハッカソン（アプリケーション開発イベント）「Connect 2019 in Koriyama, with UDC」を開催しました。

企業と学生が共同でアプリ開発を行うことにより、地域のICT化の支援と、高度情報化、ICT業界を担う人材の育成を図ることを目的に、今年で6回目の開催。1日目はオープニングセミナーとしてNPO法人国際ゲーム開発者協会日本（IGDA 日本）中林寿文氏、東北TECH道場 小俣博司氏、日本マイクロソフト 物江修氏よりご講演後、2日間にわたり開発を行いました。2日目は午後より各チームのプレゼン、S.A.F.E.情報整備局 和田晃司氏の便利なアプリ事例発表の後、成績発表、表彰を行いました。

参加チームは、テクノアカデミー郡山、A&D,WiZ※（6チーム）、郡山市ソーシャルメディア推進課、社会人学生混合チーム、福島情報処理センター、エフスタ、福島コンピューターシステムの12チームです。

受賞作品は郡山市長賞：エフスタ『マバナラ』、郡山高度情報化システム研究会賞：社会人学生混合チーム『ACQIFY（アクシファイ）』、Connect 2019賞（ニューコメ）：A&D,WiZ1『LossLess（ロスレス）』、マイクロソフト賞：テクノアカデミー郡山『ゆるコレ』。今後、全国規模で開催されるアーバンデータチャレンジ2019への応募を目指します。

市長賞『マバナラ』はSNS上の過去の夫婦のやりとりをデータとして蓄積し、ママならどうした、パパならどうしたを解析し、困ったときにママならどうする、パパならどうするを推理して答えてくれる子育て支援のアプリです。

※A&D,WiZ：

国際総合学園 国際アート&デザイン大学校、
 国際自動車大学校



令和元年度 第1回技術等審査委員会の審査結果 地域技術起業化助成事業として1件を採択

令和元年10月1日～10月31日に応募があった助成事業について、去る11月29日に郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンターにおいて技術等審査委員会が開かれ、厳正な審査の結果、地域技術起業化助成事業として次の1件が採択されました。

【エゴマ自動選別機の製品化】

日ノ出工機株式会社 代表取締役 矢ヶ崎 光信

製品化目的：

健康効果が期待されるエゴマの生産において、収穫後の選別作業に手間と時間がかかっており、生産量を増やすことが難しい状況にあります。

このためエゴマ自動選別機の開発・製品化を図ることで、エゴマの選別作業の負担軽減、作業効率化を図るものであります。

県内にも生産者は多く、全国からも注目されており、今後の生産量の増加、生産者の収入増を期待されます。

事業実施期間：令和元年12月1日～令和2年3月31日

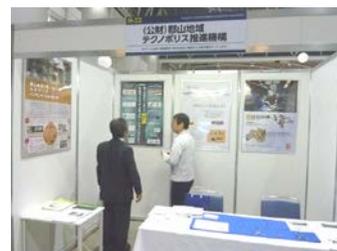
メディカルクリエイション ふくしま2019開催報告

11月27日(木)・28日(金)に、第15回目となる『メディカルクリエイションふくしま2019』が、国内外の227企業・団体の出展のもと開催されました。

当機構は、インキュベーションセンターの入居企業2社(株)アイアールメディカル工房、(株)マイステック)の展示を行いました。

入場者は、主催者発表で、3,742名(前年より増加)でした。

また、第8回目の「MCF大賞」は、ミツフジ株式会社(川俣市)などの他、今年度初めてとなる「医療機器メーカーが選ぶベストアピール賞」は、株式会社三幸製作所(白河市)が選ばれました。



当機構ブース

インキュベーションセンター

新規溶接機の使い方講習会 開催報告

当機構インキュベーションセンターの試作センター内に設置しておりました「TIG溶接機とアーク溶接機」が台風19号の影響で浸水し、修理不可能となり、12月新たにダイヘン社のエアープラズマ切断機DT-6000を設置しました。

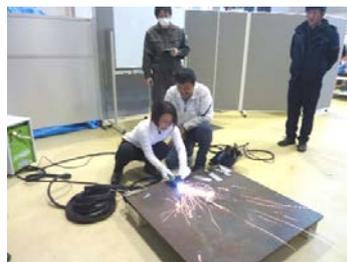
この機器は一台で3役(エアープラズマ切断、直流パルスTIG溶接、直流手溶接)をこなす優れものです。早速この機器の使い方について入居企業4社・職員合わせて8人が受講いたしました。



エアープラズマ切断機の機能紹介



講師によるエアープラズマ切断の実演



ステンレス鋼板を切断する受講者



講師による直流パルスTIG溶接の実演

今月のコラム (技術コーディネーター 佐藤正弘)



『医工連携』で中核となる機関『ふくしま医療機器開発支援センター(郡山市富田町)』があり、医療分野への参入を計画するものづくり企業に、支援

の手を差し伸ばす心強い存在です。

しかし、別事業分野からの医療分野参入は課題が多く、①医療ニーズの探し出し(医師か、病院の医療機器管理部門か)、②市場性の判断、③販売体制の構築、④開発設計、⑤製造(薬機法)、⑥医療機器認定 などと、通常製品化+αを進めていかなければなりません。技術コーディネーターとしては、参入しやすい医療ニーズを探し出し、ものづくり企業への製品企画書素案なるたたき台を提示をしていくことを目標にしています。

日本医療研究開発機構(AMED)が運営する『医療機器アイデアボックス』のコーディネーターコメントも、一つの参考になるかと思います。

次回は、分野を特定して『農工連携について』を予定しています。

発行元 (公財)郡山地域テクノポリス推進機構/郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

TEL 024-947-4400 FAX 024-947-4475 E-mail techno@nm.net6.or.jp

郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター

TEL 024-926-0344 FAX 024-943-4441 E-mail monodukuri@nm.net6.or.jp

